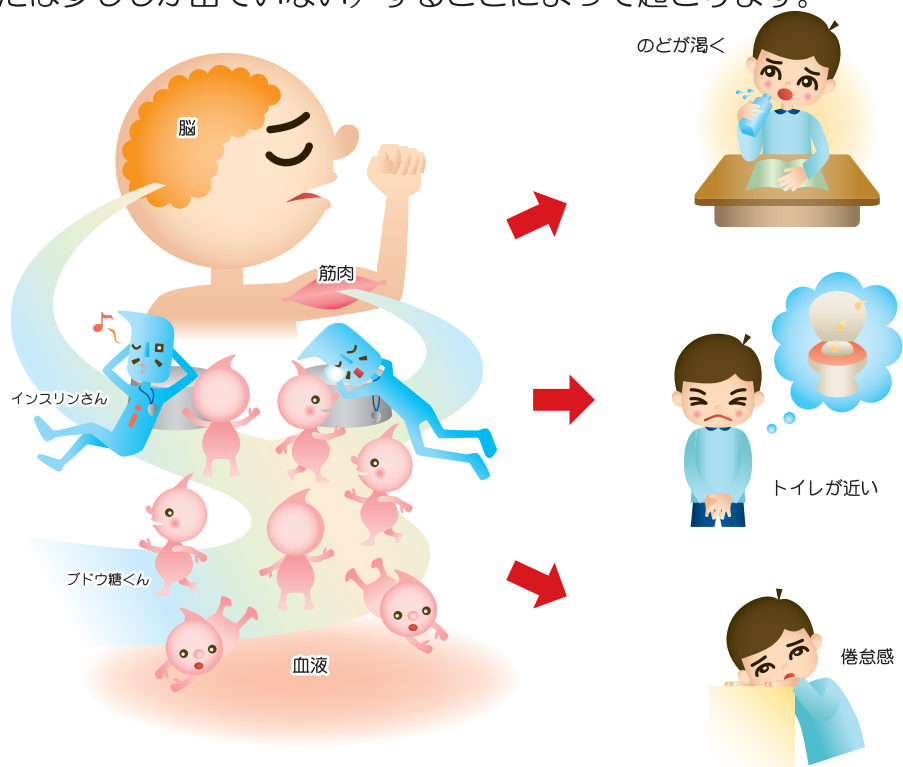


1 型糖尿病とは

1 型糖尿病とは「小児糖尿病」ともいわれ、現在は治療上インスリン注射が欠かせません。いずれの年代においても発症の可能性があります、典型例の大部分は 15 歳未満の子どもにみられるという点があります。

体内で唯一、インスリンを分泌するすい臓のβ細胞が破壊され、インスリンが欠乏（インスリンが全く、または少ししか出ていない）することによって起こります。



● 治療

毎日インスリン注射をして体の中に必要なインスリンを補います。インスリン製剤の種類は主に効果の現れる時間・持続時間によって分類されます。インスリン注射をすることで血糖値を正常にコントロールでき、ほかの人たちとおなじような生活を送ることが出来ます。

1 型糖尿病は食事制限の必要はありません。健常な子ども達と同じように成長のために十分なエネルギーをとりバランスのとれた食事をする事が大切です。運動は体育の時間はもとより運動部活動も可能です。

